

大分工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	ドイツ語 I	
科目基礎情報							
科目番号	31S507			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	情報工学科			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	「つながるドイツ語みつとりーべ」, 朝日出版社						
担当教員	峯本 敏男						
到達目標							
(1) ドイツ語が正確に発音できる。(小テスト,定期試験) (2) ドイツ語の初級文法の基礎を習得し,平易なドイツ語文を理解できる。(課題,定期試験) (3) ドイツ語を用いて初歩的な会話表現ができる。(口頭練習,定期試験)							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	ドイツ語が正確に発音できる.			ドイツ語がほぼ正確に発音できる.		ドイツ語が正確に発音できない	
評価項目2	ドイツ語の初級文法の基礎を習得し,平易なドイツ語文を充分理解できる			ドイツ語の初級文法の基礎を習得し,平易なドイツ語文をほぼ理解できる		ドイツ語の初級文法の基礎を習得せず,平易なドイツ語文を充分理解できない	
評価項目3	ドイツ語を用いて初歩的な会話表現ができる			ドイツ語を用いて初歩的な会話表現がほぼできる		ドイツ語を用いて初歩的な会話表現ができない	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (C2) JABEE 1(2)(f)							
教育方法等							
概要	ドイツ語は現在,ヨーロッパを中心に約1億人の使用人口を持つ言葉であり,元来,英語とは姉妹語で共通点も多く,特に工学や学術分野においては今なお重要な言語の一つである.本講では,新しい外国語の授業を通して外国語を学ぶ楽しさや面白さを体感させると同時に,英語圏とは異なる社会や文化にも目を向けながら,ドイツ語の基礎力の習得とともにこれからの技術者に必要な国際性と幅広い視野の育成を目指す.						
授業の進め方・方法	本講では,新しい外国語の授業を通して外国語を学ぶ楽しさや面白さを体感させると同時に,英語圏とは異なった社会や文化にも目を向けながら,ドイツ語の基礎力の習得と共にこれからの技術者に必要な国際性と幅広い視野の育成を目指す.						
注意点	新しい外国語の学習にとっては,先ず発音の習得と基本文法の理解が最も重要である.授業中も集中して積極的に発話練習に取り組み,日頃から音読練習と復習をこころがけること.「継続は力なり」.再試験は実施しない.						
評価							
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容			週ごとの到達目標	
		1週	授業概要説明,ドイツ語概観 発音 (1) アルファベット			ドイツ語がどんな言葉か理解でき,ドイツ語のアルファベットが発音できる.	
		2週	発音 (2) アルファベット・母音			母音,変母音,重母音の発音ができる.	
		3週	発音 (3) 子音			子音が発音ができ,数字や曜日等が発音できる.	
		4週	発音 (4) 挨拶・表現			ドイツ語で挨拶でき,日常の簡単な表現を発音できる.	
		5週	動詞の現在形 (1) 現在人称変化・平叙文			規則動詞の現在形の人称変化と文の基本形が理解でき,簡単な自己紹介ができる.	
		6週	動詞の現在形 (2) 疑問文			疑問文が理解でき,ドイツ語で簡単な質問ができる.	
		7週	動詞の現在形 (3) 否定文・sein の用法			否定文が理解でき,動詞sein を用いた表現ができる.	
	2ndQ	8週	名詞と冠詞 (1) 名詞の性・冠詞			名詞の性と冠詞の基本用法が理解できる.	
		9週	前期中間試験				
		10週	前期中間試験の解答と解説 名詞と冠詞 (2) 名詞の格			間違えた箇所が理解できる.名詞の1格と4格を用いて会話できる.	
		11週	名詞と冠詞 (3) 名詞の格・haben の用法			名詞の2格と3格を用いて会話でき,動詞haben を用いた表現ができる.	
		12週	名詞と冠詞 (4) 名詞の複数形			名詞の複数形の基本用法が理解できる.	
		13週	人称代名詞			人称代名詞の基本用法が理解できる.3・4格を用いた簡単な会話ができる.	
		14週	動詞の現在形 (4) 不規則動詞			不規則動詞の現在人称変化が理解でき,簡単な会話ができる.	
		15週	前期期末試験				
16週	前期期末試験の解答と解説			間違えた箇所が理解できる.			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0